

令和6年度第1回 福知山市行政改革推進委員会

日 時：5月1日（水）

午後3時～

場 所：市民交流プラザ 会議室4-1

《 次 第 》

開会

- 1 令和6年度委員及び事務局体制の紹介
- 2 委員長・副委員長の選出
- 3 報告事項
 - ・自治基本条例推進委員会の取組について
- 4 議事
 - (1) 施策レビューについて
 - ・令和6年度施策レビューの取組の方向性について
 - ・二次レビュー対象施策の選定
 - ・二次レビュー実施日程及び当日のタイムスケジュール
 - (2) 事務事業評価シート（案）
 - (3) 年間スケジュール（案）
 - (4) その他

閉会

【配布資料】

- 資料1 福知山市行政改革推進委員会 委員名簿
- 資料2 福知山市職員名簿
- 資料3 福知山市行政改革推進委員会規則
- 資料4 自治基本条例推進委員会の取組について
（「市民から市民への21の提案」実現に向けて）
- 資料5 令和6年度施策レビューの取組の方向性について
- 資料6 令和6年度二次レビュー対象施策（案）
- 資料7 令和6年度施策レビュー（二次レビュー）実施日程及び
当日のタイムスケジュール（案）
- 資料8 事務事業評価シート（案）
- 資料9 年間スケジュール（案）

福知山市行政改革推進委員会 委員名簿
(令和6年4月～)

(50音順、敬称略)

	氏名	機関・団体名・主な公職等
1	井上 拓 (再任)	<ul style="list-style-type: none">・ITコンサルタント・フューチャー株式会社シニアアーキテクト・イノベーションラボラトリ株式会社取締役
2	浦尾 たか子 (再任)	<ul style="list-style-type: none">・京南倉庫株式会社常務取締役・京都府舞鶴港湾審議会委員・京都府産業人材育成委員会委員・(公社)下京納税協会副会長・関西広域連合協議会委員
3	菊田 学美 (再任)	<ul style="list-style-type: none">・行政書士・社会保険労務士・福知山市法令遵守審査会委員・福知山公立大学法人評価委員会委員
4	深尾 昌峰 (再任)	<ul style="list-style-type: none">・龍谷大学 副学長・政策学部教授・学校法人龍谷大学 常務理事
5	細見 祐介 (再任)	<ul style="list-style-type: none">・公認会計士・税理士・福知山市指定管理者制度第三者評価委員会委員・福知山公立大学非常勤講師
6	村尾 慎哉 (再任)	<ul style="list-style-type: none">・公認会計士・税理士・村尾会計事務所所長・滋賀県監査委員

福知山市職員名簿（令和 6 年度）

（行政改革推進委員会事務局）

補職名	氏名
市長公室長	田 村 雅 之
財務部長	蘆 田 祐 幸
市長公室 経営戦略課長	森 下 邦 治
財務部 財政課長	谷 口 学
市長公室 経営戦略課 課長補佐兼係長	蘆 田 功
市長公室 経営戦略課	黒 木 美 佳

福知山市行政改革推進委員会規則

(目的)

第1条 この規則は、福知山市附属機関設置条例（昭和28年福知山市条例第29号）第2条の規定に基づき、福知山市行政改革推進委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(組織)

第2条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、市政に関して優れた識見を有する者のうちから、市長が委嘱する。

(任期)

第3条 委員の任期は、1年とする。ただし、再任を妨げない。

2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第4条 委員会に委員長1人、副委員長1人を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(資料提出の要求等)

第6条 委員会は、調査審議のため必要があるときは、関係職員に対し、資料の提出、意見の開陳、説明その他必要な協力を求めることができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、市長公室経営戦略課において処理する。

(その他)

第8条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

自治基本条例推進委員会の取組について (「市民から市民への21の提案」実現に向けて)

1 令和4年度の主な取組内容について

令和4年度は「市民から市民への21の提案」について、21人の委員を2つのグループに分け(Aグループ10人、Bグループ11人)、それぞれのグループごと3~4のテーマについて検討を行った。

各委員とも市民目線で各提案に対してこうすべきである等の意見出しに終始した。

提案No.	提案内容	検討内容
提案②	学校だけではない学びの場をつくり、「生きる力」と「困難に対するしなやかさ」を育もう	元教師のスキルやノウハウを活かしたフリースクールや学校と家庭をつなぐ中間支援が必要。
提案③	「子育ての話」を気軽にでき、先入観や「あるべき論」にとらわれず、一人ひとりの個性を生かした子育てができる環境をつくろう	不登校等に悩む保護者が行政の窓口いきなり相談に行くのは勇気がいることなので、気軽に話すことができる場があれば救いになる。
提案⑧	子育てを地域全体でサポートすることで働く人が住みやすいまちをつくろう	学校以外の学びを主体的に取り組む力を求められているので、そういう学びの場を地域に求める。
提案⑫	福知山市の魅力、強みを生かして、儲かる観光業、農林畜産業をめざして盛り上げよう	市民出資による資金で農作物を育てる。観光地の交通手段確保のため、観光地同士をつなぐバスを運行する。
提案⑬	福知山市の歴史、自然、文化などの魅力を日本中、そして世界にむけてアピールしていこう	行政だけではなく、さまざまな立場の人が SNS 等で情報発信し、福知山市の魅力をPRする。
提案⑭	担い手が少なくなってきた時代に対応し、自治会などの活動を見直し、開かれた運営を行っていこう	自治会の中で自治会員が自発的な活動を応援する。 わがまち自慢や取組み事例を発表する機会を作り、情報交換を進める。 世帯から代表してではなく実行委員会形成にし、できる人ができることをやる。
提案⑰	一人ひとりが楽しみながら、様々な場で力を発揮することができる環境をつくろう	地域の繋がりをもつために、地域行事に参加してもらい機会をいかに増やすかを考える。

2 令和4年度の取組の課題について

「市民から市民への21の提案」の内容及び実現に向けて検討した内容について、市民に対して十分な周知ができなかった。

提案の検討に向けた現状把握や市民が主体となって取り組むための課題設定が不十分なものあり、実現に向けた具体的な提案の検討まで至らなかった。

3 令和5年度の主な取組内容について

(1)まちづくり講演会の実施について

「市民から市民への21の提案」の内容及び自治基本条例推進委員による提案の実現に向けた検討内容を広く市民に周知するとともに、市内及び市外において地域活動を主体的に実践している実践者の話を聴き、まちづくり活動への参加のきっかけを創出するために実施した。8月26日開催。参加者数約50名。

(2)グループワーク形式による提案の具現化に向けた検討について

令和4年度の反省も踏まえ、3～4名の少人数グループ編成とし、意見出しのみに終わらず、具体的な実施の姿まで描くまで十分議論を行った。十分な議論に時間を要するグループは自主的に集まりグループワークを数回行った。

また、各グループに関係する分野の市職員も参加し、各分野の現状把握を共有するとともに、一市民として具体的な実施に向けた議論を一緒に行った。

提案No.	提案内容	具体化に向けた検討内容
提案⑦	福知山市の自然やコミュニティの中でしか体験できない思い出をたくさん作ることで「心の豊かさ」を育むとともに世界に向けて「発信したくなる気持ち」を育てよう	コミュニケーションツール「Slack」において、地域の人が知らないコアな情報を発信するスペース「ふくしる」を開設。このスペースを活用して市民自らが情報発信し、市民同士がつながる仕組みをつくる。
提案⑫	福知山市の魅力、強みを生かして、儲かる観光業、農林畜産業をめざして盛り上げよう	福知山市在住外国籍の方への聞き取りや市民からの募集により市民が訪日外国人客に向けた体験型周遊プランを作成する。
提案⑭	担い手が少なくなってきた時代に対応し、自治会などの活動を見直し、開かれた運営を行っていかう	複数自治会で連携する取組の検討を行う。気軽に参加でき、話ができる機会を作るなど楽しみを共有する場を作る。先進的な取組を行う自治会を紹介する冊子を作成し配布する。など
提案⑮	「やらなければならない」地域活動から「やりたい人がやりたいことをやる」地域活動へ変えていかう	
提案⑳	一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな相談、支援をできる体制を、地域包括支援センターを中心につくろう	地域包括支援センターの認知度を高めるために、チラシを作成するなどの広報を行うとともに、日頃から地域の人同士のつながりを深める取組を行う。
提案㉑	独居高齢者、老々介護、介護離職など、様々な介護の事情や社会生活環境の変化をふまえ、担い手の多様化と地域での支え合いの仕組みをつくろう	地域を超えた集まり、つながりの場の創出やリーダーや役を作らない新しい集まりの場の運営の創出を図り住民全体で支え合う地域をめざす。

4 令和5年度の課題について

各グループの話し合いにより具体化に向けた意見は出されたが、そのアイデアを実際に誰が実行していくかについては各班とも課題と考えている。

提案内容を広く市民に周知し、実際に取組が始まるきっかけづくりも必要となってくる。

5 令和6年度の主な取組について

(1) まちづくり講演会の実施について

令和5年度に実施した主な取組内容について発表を行い、21の提案の中から具体化に向けた取組が行われている事例を発表し、市民に呼びかけることで市民が中心となった取組を促す。

(参加者のうち、まちづくり活動に興味がある人はメールアドレスを登録してもらい、まちづくり活動への参画やイベントへの参加案内を行う。)

(2) 提案内容に係るグループワークでの議論について

残りの10の提案について具現化に向けた議論を行う。

令和6年度 施策レビューの取組の方向性について

令和6年度の施策レビュー（一次・二次）の取組の方向性については、以下のとおりとする。

1 現状

「まちづくり構想 福知山」に基づく令和6年度の施策レビューシートについては、令和5年度中に作成を依頼し、その結果について、経営戦略課において下記の観点でのチェックを実施、併せて令和6年度の二次レビュー候補を検討した。

2 今後の一次レビューの取組

施策レビューシートについては、毎年度、点検・修正を実施してきたところであるが、必ずしも目標実現につながる事業構成や指標の設定となっていない状況がある。

令和6年度は、「まちづくり構想 福知山」の中間計画年度となることも踏まえ、経営戦略課と関係部署による協議・調整を行ったうえで、課題の大きい施策や連携による課題解決が期待できる施策をピックアップし、経営会議において議論いただくこととする。

（レビューシートの協議・調整）

- 「まちづくり構想 福知山」に掲げる各施策を実現するため、課題や各事業が果たすべき役割を明確にする。
 - ・ 施策の実現に向けて、解決すべき課題は具体的にどの事業で実現するのか。
 - ・ 施策を実現するための課題について、改善するための事業に着手されているか。

- 課題解決に事業がどのように結びつき、どのような取組を行ったか、また、施策の実現や課題解決にどのように貢献したのか明確にする。
 - ・ 課題解決に向けた取組や改善内容について、簡潔な表現に留めず、経過や道筋について、成果指標や達成状況に関する定量的・定性的な評価がなされているか。
 - ・ 改善提案を受けての方向転換の対応として、新たな取組事項とあわせ、統合や廃止などに関する意識・工夫がこらされているか。

- 市民や民間企業等と連携した取組が時代の要請となっているが、連携・協働のあり方について具体的に検討し実施する必要がある。
 - ・ 市が主体として取り組む事業の記載だけでなく、市民団体や民間企業等との協働に向けた意識・工夫がなされているか。

3 令和6年度二次レビュー選定候補(案)

・案件1 (他の施策への波及効果が期待できる)

【政策目標2-1 防災・減災、災害対策の強化】※令和4年度二次レビュー実施済

施策① 地域防災力の強化と減災対策の推進

<理由>

避難のあり方検討会の検討結果に基づき、防災意識の高い社会を構築するために事業進捗を図っている。令和4年度の二次レビュー実施施策であるが、その後の取組において、ICT活用の更なる推進や要配慮者の避難支援にあたり、直接関連しない部署や団体等を巻き込みながら取組を進めており、他の施策における課題解決の示唆になり得る。

また、地震に備えた取組、要配慮者の避難支援の取組の課題に対して、議論をいただき、その方向性を確認する機会とする。

・案件2 (施策の実効性をより高めるため)

【政策目標3-2 すべての子どもが大切にされる地域づくり】

令和5年度、多様な学びアクションプランに基づく事業推進が開始され、1年を通しての取組状況を確認するとともにより良いものとしていく。

施策① 課題を抱える子どもの支援の充実

施策② 地域全体で子育てを支える機運の醸成

<理由>

全国的に少子化対策、子育て支援策が講じられるなか、本市においても、子どもたちの育ちをみつめ、共に支え合い、安心して出産・子育てできるまちづくりを進めている。

学校や家庭が複雑化・多様化する今日において、子どもの状況に対応した多様な学びの選択肢の必要性の高まりを受け、子どもたちが将来、自己実現や社会的自立ができる力を培うことを目的として令和5年度から新たな居場所づくりを開始しており、引き続き取組をより良いものとしていくため、二次レビューの場を通じて、取組内容の周知とあわせて多様な意見・助言を得る場とする。

・案件3 (施策の実効性をより高めるため)

【政策目標6-2 地域包括ケアシステムの推進】

自分らしく生活を送ることができるよう、生活支援や相談支援体制、医療・介護などの専門的なサービス基盤を充実させるための様々な取組内容を周知し、支え合い、共に幸せを生きることができ「地域包括ケアシステム」を推進していく。

施策① 地域の支え合いによる日常生活支援の推進

施策② 高度医療・救命救急・一般診療などが連携した地域医療体制の充実

施策③ 一人ひとりに寄り添った相談・支援体制の強化

<理由>

一人ひとりの暮らしと生きがい、地域を共に創っていく地域共生社会の構築をめざし、第4次福知山市地域福祉計画が令和4年度に、第10次福知山市高齢者保健福祉計画が令和5年度に策定されたが、二次レビューの場を通じて、今後の方向性や取組内容の周知とあわせて多様なご意見・ご助言をいただく場とする。

令和6年度 二次レビュー対象施策（案）

基本政策	政策目標	施策	施策担当部	R6 候補	R5 実施	R4 実施	
1 市民一人ひとりが、まちづくりの担い手となり、ほどよい力加減で助け合うまち	1 協働・共創のまちづくり基盤の整備	1 地域組織や地域活動の活性化	地域振興部		○		
		2 地域課題の解決に向けたしくみの構築	地域振興部		○		
	2 持続性のある移動手段の確保	1 日常生活ニーズに応じた外出・訪問サービスの確保	建設交通部	福祉保健部		○	
		2 持続可能な公共交通の制度設計・運営	建設交通部			○	
	3 地域に参画する新たな担い手の拡充	1 良質な住宅ストックの形成と移住促進	地域振興部			○	
		2 関係人口としての福知山ファンの獲得	市長公室			○	
2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち	1 防災・減災、災害対策の強化	1 地域防災力の強化と減災対策の推進	危機管理室	福祉保健部	①	○	
		2 消防・救急体制の充実	消防本部			○	
	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり	1 エネルギーの地産地消の推進	産業政策部			○	
		2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成	市民総務部	産業政策部			○
	3 自然と共生する地域空間の形成	1 豊かな自然環境の保全と活用	産業政策部	建設交通部			○
		2 地域文化に根ざした景観の創造と保存	建設交通部	地域振興部			
3 市民一人ひとりが、お互いを尊重しながら、ともに育み、ともに育つまち	1 互いに自分らしさを尊重した人権文化の創造	1 偏見や差別のない多様性の尊重と理解促進	人権推進室		○		
		2 人権を尊重した地域生活の確立	人権推進室		○		
		3 多文化共生とユニバーサル社会の推進	人権推進室	福祉保健部		○	
	2 すべての子どもが大切にされる地域づくり	1 課題を抱える子どもの支援の充実	子ども政策室		②		
		2 地域全体で子育てを支える機運の醸成	子ども政策室		③		
	3 安心して出産、子育てできる環境の充実	1 子どもや保護者の健康の保持・増進	子ども政策室				
2 就学前の保育・教育の推進		子ども政策室					
4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進	教育委員会				
		2 子どもへの学びと成長の土台づくり	教育委員会				
		3 豊かな人間性を育む教育の実践	教育委員会				
	2 それぞれの人に適した、生涯を通じた学びの場づくり	1 生涯にわたり学び続けられる機会の充実	教育委員会				
		2 公民館や図書館を生かした学びの場づくり	教育委員会				
		3 高校生など若者の学びへの支援	市長公室	地域振興部			
3 学びを深められる地域資源の継承・発展	1 文化財の保護・活用と地域文化の継承	地域振興部					
	2 福知山公立大学の教育研究の充実	市長公室					
5 市民一人ひとりが、その人なりの生きがいを持ち、健やかに活動的なまち	1 アクティブに人生を歩める生きがいづくり	1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進	地域振興部			○	
		2 生活の質を高める文化・芸術活動の振興	地域振興部		○	○	
		3 アクティブなまちの基盤となる地域の安心・安全	市民総務部	建設交通部			○
	2 生涯を通じた身体・健康づくり	1 全ての世代に対する健康意識の醸成と動機づけ	福祉保健部			○	
		2 高血圧をはじめとする生活習慣病の予防促進	福祉保健部			○	
	3 こころの健康づくり	1 多世代にわたる精神的不調の予防と早期発見	福祉保健部				
2 ひきこもり対策の推進		福祉保健部					
6 市民一人ひとりが、最期まで生き生きと暮らし、温かく見送られるまち	1 自分らしく暮らせる社会環境の充実	1 高齢者の身体的・精神的・社会的な健康づくり	福祉保健部				
		2 最期まで自分らしく生きられる「終活」の普及	福祉保健部				
	2 地域包括ケアシステムの推進	1 地域の支え合いによる日常生活支援の推進	福祉保健部		④		
		2 高度医療・救命救急・一般診療などが連携した地域医療体制の充実	市民病院事務部	福祉保健部	⑤		
		3 一人ひとりに寄り添った相談・支援体制の強化	福祉保健部		⑥		
	3 介護サービスの基盤整備	1 介護サービスの持続可能性を支える人材の確保	福祉保健部				
2 認知症の人と、その家族への支援の充実		福祉保健部					
7 市民一人ひとりが、生活と仕事の調和の取れた、多様な働き方が活かされるまち	1 働く意欲を支える支援制度の充実	1 スキル取得やキャリア形成の機会の創出	産業政策部				
		2 障害、年齢、性別、国籍などから就労・職場定着に結び付きにくい人への支援の強化	産業政策部	福祉保健部			
		3 子どもや学生の将来に向けたキャリア教育の推進	教育委員会	市長公室			
	2 仕事と調和の取れたライフスタイルの確立	1 男女共同参画の推進	人権推進室				
		2 育児・介護と仕事を両立できる環境の整備	人権推進室	産業政策部			
		3 多彩なライフスタイルの実現に向けた働き方の見直し	産業政策部	地域振興部			
8 市民一人ひとりが、時代の変化を先取りし、地域産業の発展に貢献できるまち	1 地域経済を支える産業の振興	1 既存企業の成長促進と企業の誘致・定着の促進	産業政策部		○		
		2 産官学金連携を通じた経営力の強化	産業政策部		○		
		3 新産業の育成と起業支援の充実	産業政策部		○		
	2 DXを生かした商業・サービス業の活性化	1 商店街や個店の魅力向上支援	産業政策部		○		
		2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進	産業政策部		○		
	3 稼ぐ力のある農林業の確立	1 スマート農林業及び稼げる農林業、環境に優しい農林業の推進	産業政策部		○		
2 有害鳥獣対策の推進		産業政策部		○			
9 持続可能な生活を支える基盤の整ったまち	1 公共施設の最適化	1 持続可能なまちづくりに向けた公共施設の再配置	財務部				
		2 地域価値向上を図るための公有財産の利活用	財務部				
	2 産業基盤の整備	1 道路などの適切な維持管理と、国や府との連携による道路網の整備	建設交通部				
		2 計画的な上下水道施設の整備	上下水道部				
	3 生活基盤の確立	1 豊かな生活空間の整備	建設交通部				
		2 居住地の浸水対策、治山・治水対策	建設交通部	産業政策部			

令和6年度 二次レビュー実施日程及び当日のタイムスケジュール（案） 1施策170分

1日目：令和6年8月3日（土）				2日目：令和6年8月4日（日）				
予定時間	項目	グループ①	グループ②	予定時間	グループ①	グループ②	項目	予定時間
8:30				8:30	集 合			8:30
8:45				8:45	事前打ち合わせ			8:45
9:00				9:00				9:00
9:15				9:15	施 策 説 明		現状把握 課題設定 方向性・改善内容	9:15
9:30				9:30	2-1-1 地域防災力の強化 と減災対策の推進 【施策主担当】 危機管理監 危機管理室 福祉保健部長 社会福祉課 地域包括ケア推進課 教育部長・理事 学校教育課 消防長 予防課 市長公室長 職員課 (施策担当) 地域振興部長 大江支所 福祉保健部長 高齢者福祉課 障害者福祉課 産業政策部長 農政課 建設交通部長 建築住宅課	6-2-2 高度医療・救命救急 ・一般診療などが 連携した地域医療 体制の充実 【施策主担当】 市民病院事務部長 市民病院総務課 医事課 大江分院管理課 福祉保健部長 健康医療課 市民総務部長 保険年金課 財務部長 財政課	質疑応答① 施策改善推進委員 質問	9:30
9:45			9:45	質疑応答② 施策改善市民 パートナー 疑問点確認			9:45	
10:00			10:00	休憩			10:00	
10:15			10:15	主となる構成事業の 説明 施策改善推進委員 質疑応答			10:15	
10:30			10:30				10:30	
10:45		準 備	10:45	休憩			10:45	
11:00			11:00	議論内容の確認			11:00	
11:15			11:15	施策のあり方議論			11:15	
11:30			11:30				11:30	
11:45			11:45	まとめ			11:45	
12:00			12:00	ま と め		12:00		
12:15			12:15	昼 休 憩		12:15		
12:30			12:30					
12:45			12:45					
13:00			13:00					
13:00		集 合	13:00	施 策 説 明		現状把握 課題設定 方向性・改善内容	13:00	
13:15		事前打ち合わせ	13:15	3-2-2 地域全体で子育てを 支える機運の醸成 【施策主担当】 子ども政策監 子ども政策室 (施策担当) 教育部長・理事 生涯学習課	6-2-3 一人ひとりに 寄り添った相談・ 支援体制の強化 【施策主担当】 福祉保健部長 高齢者福祉課 地域包括ケア推進課 (施策担当) 市民総務部長 保険年金課 財務部長 財政課	質疑応答① 施策改善推進委員 質問	13:15	
13:30		開 会 式	13:30			質疑応答② 施策改善市民 パートナー 疑問点確認	13:30	
13:45		会 場 移 動	13:45			休憩	13:45	
14:00	現状把握 課題設定 方向性・改善内容	施 策 説 明	14:00			主となる構成事業の 説明 施策改善推進委員 質疑応答	14:00	
14:15	質疑応答① 施策改善推進委員 質問	3-2-1 課題を抱える 子どもの支援の充実 【施策主担当】 子ども政策監 子ども政策室 (施策担当) 福祉保健部長 障害者福祉課 教育部長・理事 学校教育課	6-2-1 地域の支え合いによる 日常生活支援の推進 【施策主担当】 福祉保健部長 社会福祉課 高齢者福祉課 地域包括ケア推進課				14:15	
14:30	質疑応答② 施策改善市民 パートナー 疑問点確認					14:30		
14:45	休憩					14:45		
15:00	主となる構成事業の 説明 施策改善推進委員 質疑応答					15:00		
15:15						15:15		
15:30	休憩					15:30		
15:45	議論内容の確認			15:45				
16:00	施策のあり方議論			16:00				
16:15				16:15				
16:30	まとめ			16:30				
16:45	休 憩 ・ 会 場 移 動		16:45					
17:00	閉 会 式		17:00					
17:15	片付け		17:15					
17:30			17:30					
17:45			17:45					

福知山市 令和 年度事務事業評価シート (案)

資料 8

I 事業属性

(単位: 千円)

事業名						事業コード		
政策体系	基本政策				政策目標			
	施策名					施策コード		
事業担当	所属				所属長			
会計情報	款	項	目		会計	決算附属資料	頁	
計画期間	開始年度	終了予定年度	関連計画名		R5現在の状況			
根拠法令等								
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
関連事業								

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状							
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ							
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入)							
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること							
	実施概要掲載	URL等				其他媒体		
対象者					対象者数	単位あたりコスト		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()							
委託先・実施主体等								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R5)	主な業務内容					

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0		0		0		0	
	② 補正予算	0		0		0		0	
	③ 繰越予算	0		0		0		0	
	前年度繰越	0		0		0		0	
	次年度繰越	0		0		0		0	
小計(①~③)		0		0		0		0	
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0	
	② 国支出金	0		0		0		0	
	③ 府支出金	0		0		0		0	
	④ 地方債	0		0		0		0	
	⑤ その他特財	0		0		0		0	
決算情報	① 流充用額	0		0					
	② 配当予算	0		0					
	③ 執行額	0		0					
	④ 執行率								
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.00	/	0.00	0.00	/	0.00	/	
	② 概算人件費	0		0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称			種類			実績金額		
						決算附属資料		頁	

IV 業績指標(ロジックモデル)

施策目標 (中・長期アウトカム)	成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※「まちづくり構想 福知山」において設定している施策の成果指標を記載	成果実績								
		目標値								
		成果実績								
	目標値									

関連する計画で定める目標 (中・長期アウトカム)	(計画名)	単位	令和 年度	計画最終年度 令和 年度					
			実績						
		目標値							
	※1ページ目の「1 関連計画名」に記載した計画において定めている目標を記載	(計画名)	単位	令和 年度	計画最終年度 令和 年度				
実績									
	目標値								

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度
	※「 直接アウトカム 」…下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
↑	成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)	※成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データの出典又は測定方法を記載							
	成果指標①の設定理由	※アウトプットで記載した活動指標が、どの様な過程を経て直接アウトカムにつながるのかを記載すること							
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 活動見込	令和7年度 活動見込	目標最終年度 令和8年度 活動見込
	※「 アウトプット 」…アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
↑	活動指標①の設定理由	※アクティビティがどの様な過程を経てアウトプットに設定する活動指標につながるのかを記載すること							
	活動内容①(アクティビティ)	※「 アクティビティ 」…アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。							

V 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	
現状の課題に対する改善策	

VI 二次点検(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 点検を踏まえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	事業の見直し区分		次年度事業及び予算要求の方針
	<input type="checkbox"/> 廃止/休止	前年度終了事業または、現年度の点検の結果、事業を廃止(休止)し、次年度予算要求において予算要求を行わないもの。	左の見直し区分を選択した理由、及びそれを踏まえた次年度方針を記載
<input type="checkbox"/> 縮減	現年度の点検の結果、対象者や制度等の見直しにより、予算又は事業内容の縮小するもの。(事業全体としては予算要求額が増加するものの、部分的に予算の縮減を行う場合も含む。)		
<input type="checkbox"/> 拡充	現年度の点検の結果、より事業を強気に推進する必要がある、対象者や制度等の見直しにより、予算又は事業内容を拡大するもの。 ※事業全体としては予算要求額が減少するものの、部分的に予算の拡充を行う場合も含む。 ※予算要求額が増加する場合は、他の事業の徹底した見直し等を通して財源を捻出することを原則とする。		
<input type="checkbox"/> 執行等改善	現年度の点検の結果、次年度予算要求の金額に反映は行わないものの、執行等の改善を検討しているもの。		
<input type="checkbox"/> 現状どおり	現年度の点検の結果、次年度予算要求の金額に反映すべき点及び執行等で改善すべき点がないもの。(上記のいずれにも該当しないもの。)		

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状どおり
<input type="checkbox"/> 他事業を統合	(統合事業名:) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名:)

令和6年度行政改革推進委員会 年間スケジュール（案）

